

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名		解剖学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		川内秀之 他	実務経験とその関連資格	医師として病院に勤務			
《授業科目における学習内容》							
人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(100％)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院							
からだが見える(人体の構造と機能)メディックメディア							
《授業外における学習方法》							
予習・復習を行う							
《履修に当たっての留意点》							
解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	1. 身体の指示と運動① 骨格・関節・筋について				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	2. 身体の指示と運動② 体幹の骨格と筋 頭頚部の骨格と筋				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	3. 身体の指示と運動③ 上肢の骨格と筋(1)				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	4. 身体の指示と運動④ 上肢の骨格と筋(2)				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。	
		各コマにおける授業予定	5. 身体の指示と運動⑤ 下肢の骨格と筋(1)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。
		各コマにおける授業予定	6. 身体の指示と運動⑥ 下肢の骨格と筋(2)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体の指示と運動について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。
		各コマにおける授業予定	7. 身体の指示と運動⑦ 筋の収縮		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	8. 腎臓の構造と機能		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	糸球体の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	9. 糸球体の構造と機能		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿細管の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	10. 尿細管の構造と機能		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	男性・女性生殖器の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	11. 男性・女性生殖器の構造と機能		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	受精と胎児の発生 成長と老化について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	12. 受精と胎児の発生 成長と老化		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼の構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	13. 眼の構造		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳の構造 鼻の構造 舌の構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	14. 耳の構造 鼻の構造 舌の構造		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚の組織構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	15. 皮膚の組織構造		